

## 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月3日

上場会社名 株式会社ADEKA

上場取引所 東

コード番号 4401 URL <http://www.adeka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 郡 昭夫

問合せ先責任者 (役職名) 法務・広報部長 (氏名) 影島 光

TEL 03-4455-2803

四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	57,482	7.3	5,216	9.6	5,467	30.9	3,860	36.8
29年3月期第1四半期	53,589	0.4	4,760	6.0	4,177	13.7	2,822	14.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 4,589百万円 (209.8%) 29年3月期第1四半期 1,481百万円 (65.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	37.54	
29年3月期第1四半期	27.32	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	290,820	189,649	62.6
29年3月期	290,485	187,956	62.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 182,034百万円 29年3月期 180,077百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		15.00		20.00	35.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		17.00		18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	117,500	7.9	9,200	6.8	9,100	2.7	6,100	0.2	59.32
通期	240,000	7.4	20,000	4.9	20,800	4.8	14,000	8.6	136.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無



## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	103,651,442 株	29年3月期	103,651,442 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	820,423 株	29年3月期	820,217 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	102,831,030 株	29年3月期1Q	103,285,911 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2017年4月1日から同年6月30日）における世界経済は、先進国を中心に緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の政策運営や欧州の政局などの懸念により、先行き不透明な状況が続きました。国内は、企業収益が持ち直すとともに、雇用環境の着実な改善などにより緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループ事業の主要対象分野である自動車関連分野は、国内及び欧州市場での販売が堅調に推移しましたが、米国及び中国市場では成長鈍化の傾向が見られました。IT・デジタル家電分野は、スマートフォンなどモバイル端末の需要が底堅く推移したことに加え、液晶ディスプレイ関連では大型テレビ・車載用が成長をけん引し、安定した成長が続きました。製パン・製菓関連分野は、低価格商品が増加する一方で、おいしさや使いやすさなどの高付加価値や健康に配慮した製品の需要が高まりました。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画『STEP 3000-II』で掲げた「売上高3,000億円のグッドカンパニー」の実現に向けて、コア事業を中心に成長分野への投資を推進しています。コア事業の1つである樹脂添加剤事業では、生産能力を増強した米国の高機能添加剤及びフランスのワンパック顆粒添加剤の設備が稼働しました。また、タイで生産する塩ビ向け安定剤、国内の三重工場生産するポリオレフィン向け高機能添加剤の設備増強に着手しました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は574億82百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は52億16百万円（同9.6%増）、経常利益は54億67百万円（同30.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は38億60百万円（同36.8%増）となりました。

報告セグメント別の概況は次の通りです。

#### (化学品事業)

当事業の売上高は、384億27百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は47億3百万円（同10.7%増）となりました。

#### ①情報・電子化学品

情報化学品は、ディスプレイ向けのレジスト樹脂や光重合開始剤の販売が堅調に推移しましたが、光学フィルム向け光硬化樹脂は販売数量が伸長したものの、販売価格が下落しました。

電子材料は、旺盛なメモリ需要を背景に3D-NANDやDRAMに使用される半導体材料の販売が堅調に推移しました。また、リードフレームのエッチング向けに回路材料が国内で堅調に推移しました。

情報・電子化学品全体では、前年同期に比べ増収増益となりました。

#### ②機能化学品

樹脂添加剤は、自動車などに使われる樹脂の生産が増加したことを背景に、核剤／透明化剤、光安定剤などの添加剤及び塩ビ向け可塑剤・安定剤の国内販売が前年同期を上回って推移しました。海外では酸化防止剤の販売数量が伸長したほか、核剤／透明化剤の販売が堅調に推移しました。

界面化学品は、自動車エンジンオイル向けの潤滑油添加剤が、国内外で好調に推移しました。また、塗料・接着剤向けの反応性乳化剤が海外を中心に堅調に推移しました。

機能性樹脂は、特殊エポキシ樹脂が電子機器の接着用途や自動車の構造接着剤向けでの販売が伸長しました。

機能化学品全体では、前年同期に比べ増収増益となりました。

#### ③基礎化学品

プロピレングリコール類は、トイレタリー等の日用品用途の需要が堅調に推移しました。

過酸化水素は、販売数量が減少しましたが、液晶ディスプレイの電子回路用途などで同誘導品が拡大し、売上高が前年同期を上回りました。一方で、原材料及び燃料価格上昇の影響を受けました。

基礎化学品全体では、前年同期に比べ増収減益となりました。

**(食品事業)**

当事業の売上高は、170億77百万円（前年同期比12.8%増）、営業利益は4億44百万円（同3.3%減）となりました。

国内では、製パン、製菓、洋菓子向けを中心にマーガリン、ショートニング類、ホイップクリーム等の販売が好調に推移し、海外では、販売・開発体制の強化と現地ニーズにあった製品の開発などにより、中国、東南アジアでの販売が拡大しました。一方で、油脂などの原材料価格高騰の影響を大きく受けました。

食品事業全体では、前年同期に比べ増収減益となりました。

**(2) 財政状態に関する説明****資産、負債および純資産の状況**

総資産につきましては、前期末に比べ3億35百万円増加（前期比0.1%増）し、2,908億20百万円となりました。

負債につきましては、前期末に比べ13億56百万円減少（前期比1.3%減）し、1,011億71百万円となりました。

純資産につきましては、前期末に比べ16億92百万円増加（前期比0.9%増）し、1,896億49百万円となりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

2018年3月期の連結業績予想につきましては、2017年5月11日に公表の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	51,374	50,796
受取手形及び売掛金	50,250	49,237
有価証券	5,822	5,825
商品及び製品	20,244	20,811
仕掛品	4,707	4,521
原材料及び貯蔵品	16,251	16,188
その他	7,521	8,039
貸倒引当金	△270	△264
流動資産合計	155,901	155,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,354	23,420
機械装置及び運搬具（純額）	26,672	26,876
土地	21,184	21,203
その他（純額）	8,909	8,630
有形固定資産合計	80,121	80,130
無形固定資産		
のれん	89	72
その他	3,892	3,740
無形固定資産合計	3,982	3,812
投資その他の資産		
投資有価証券	42,060	42,258
その他	8,419	9,465
投資その他の資産合計	50,479	51,723
固定資産合計	134,583	135,665
資産合計	290,485	290,820

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,145	33,464
短期借入金	18,015	17,978
1年内償還予定の社債	8	8
未払法人税等	3,435	1,856
賞与引当金	2,239	1,146
その他の引当金	78	19
その他	10,923	16,738
流動負債合計	67,845	71,212
固定負債		
社債	300	300
長期借入金	11,467	6,647
退職給付に係る負債	15,910	16,061
その他の引当金	255	233
その他	6,749	6,715
固定負債合計	34,682	29,958
負債合計	102,528	101,171
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,899	22,899
資本剰余金	19,926	19,926
利益剰余金	124,520	126,312
自己株式	△590	△662
株主資本合計	166,755	168,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,919	9,274
土地再評価差額金	4,276	4,276
為替換算調整勘定	2,604	2,415
退職給付に係る調整累計額	△2,477	△2,408
その他の包括利益累計額合計	13,321	13,557
非支配株主持分	7,879	7,615
純資産合計	187,956	189,649
負債純資産合計	290,485	290,820

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上高	53,589	57,482
売上原価	40,362	43,466
売上総利益	13,226	14,016
販売費及び一般管理費	8,466	8,799
営業利益	4,760	5,216
営業外収益		
受取利息	62	70
受取配当金	169	202
持分法による投資利益	—	53
その他	126	135
営業外収益合計	358	462
営業外費用		
支払利息	94	101
持分法による投資損失	24	—
為替差損	712	30
その他	109	79
営業外費用合計	941	210
経常利益	4,177	5,467
特別損失		
有形固定資産除却損	33	35
関係会社出資金評価損	146	—
特別損失合計	180	35
税金等調整前四半期純利益	3,997	5,431
法人税、住民税及び事業税	1,255	1,512
法人税等調整額	△321	△172
法人税等合計	933	1,340
四半期純利益	3,063	4,091
非支配株主に帰属する四半期純利益	241	231
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,822	3,860



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期純利益	3,063	4,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	80
為替換算調整勘定	△1,521	68
退職給付に係る調整額	71	70
持分法適用会社に対する持分相当額	△53	278
その他の包括利益合計	△1,582	497
四半期包括利益	1,481	4,589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,584	4,333
非支配株主に係る四半期包括利益	△102	255

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品事業	食品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	36,579	15,134	51,714	1,874	53,589	—	53,589
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	47	6	53	2,964	3,018	△3,018	—
計	36,627	15,141	51,768	4,839	56,607	△3,018	53,589
セグメント利益	4,248	460	4,708	48	4,757	2	4,760

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品事業	食品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	38,427	17,077	55,504	1,977	57,482	—	57,482
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	33	6	39	3,317	3,356	△3,356	—
計	38,460	17,083	55,543	5,294	60,838	△3,356	57,482
セグメント利益	4,703	444	5,148	51	5,200	16	5,216

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額16百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。